

平成31年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

総合学科として、多様な選択を生かし、主体的で充実した高校生活を通して自らの「夢」にチャレンジする生徒を育て、希望する進路を実現するための確かな学力が身につく「進学重視の総合学科」をめざす。

- 1 夢チャレンジを具体化する教育活動の展開
- 2 ともに学び、ともに育つ学校生活の充実
- 3 主体的・対話的で深い学びの実現と、確かな学力の育成

2 中期的目標

1 確かな学力の育成と授業改善

(1) 新たな学習指導要領導入に向けての取り組み

- ア 新学習指導要領の完全実施に向け、2020年度中には教育課程編成を完了させる。
- イ 志学を踏まえ、「道德教育推進教師」を中心に道德教育の充実に向けた取り組みを進める。

(2) 授業の充実と授業改善

- ア 授業の「研究協議」や生徒の「授業アンケート」を効果的に活用するとともに、教員間における「授業見学」を行い、「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善に取り組む。

※「授業アンケート」の「授業に対する生徒の評価」の5項目において、肯定的評価の割合（平成30年度77%～86%）を2021年度以降は85%以上にする。

(3) 自分の意見をまとめ、発表して、相手に（自分の）考えを伝える能力の向上

※生徒の「総合学科アンケート」における『コミュニケーション能力が身についた』（平成30年度74%）を2021年度以降は85%以上にする。

(4) 基礎学力の定着と自ら学ぶ意欲・姿勢の涵養

- ア 「学力生活実態調査」及び「堺東スタンダードテスト」への取り組み及び結果分析を踏まえ、基礎学力の定着を図る。

※「学力生活実態調査」における1, 2年生のG T Zを共にB 2（平成30年度 1年B 2、2年B 3）にする。

- イ 自主的な学習態度が身につく「勉強合宿」や「一日勉強会」等の取り組みを行う。

※「学校教育自己診断」における『学習に頑張ってきた』（平成30年度 1年51%、2年68%、3年80%）を2021年度以降1, 2年生においては10%以上引き上げ、3年生は80%以上にする。

- ウ 学校行事を通して自主・自立性を育てる。

※生徒の「総合学科アンケート」における『自主性を伸ばすことが出来た』（平成30年度75%）を2021年度以降は80%以上にする。

(5) 政治的教養をはぐくむ

- ア 民法改正に伴う成人年齢引き下げなども踏まえ、政治的教養をはぐくむ教育を一層充実させる。

2 安全で安心な学校づくり

(1) 人権教育の推進（生徒一人ひとりがそれぞれの個性を尊重しあう集団づくりを行い、人権を尊重する学校づくりを行う）

- ア 自立支援コースの充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」学校づくりを推進する。
- イ 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に基づいた指導を行う。
- ウ いじめの早期発見・対応、体罰防止など、生徒一人ひとりの人権を尊重する学校づくりを推進する。

(2) 教員の人権意識の高揚

- ア 校内人権研修を一層充実する。

※教員の「学校教育自己診断」における『人権教育の校内研修や学習会は充実している』（平成30年度77%）を2021年度以降は10%以上引き上げる。

(3) 生徒の規範意識の醸成

- ア インターネット等による人権侵害の防止や交通マナーを遵守する指導を徹底し、また薬物防止乱用教育に取り組む。

※生徒の「学校教育自己診断」における『生活指導上のルールを守っている』（平成30年度91%）を2021年度以降95%にする。

(4) 通学路の安全確保

- ア 行政とともに学校周囲の歩道整備を計画し、地域の理解・協力も得ながら2021年度までに完成をめざす。

3 夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成

(1) キャリア教育の充実

- ア 「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」「志学」「ホームルーム」の四つを通じてキャリア教育を充実する。

- イ 保育所、病院、老人介護施設等へのインターンシップの充実を図り、それぞれの職業への理解を深める。

※生徒の「学校教育自己診断」のキャリア教育に係る満足度（平成30年度 1年88%、2年85%、3年88%）の水準を維持する。

(2) 部活動の充実と学校行事への積極的な参加

- ア 「部活動に係る基本方針」に則り、部活動を活性化すると同時に、適切かつ計画的な活動を図る。

※部活動入部率（平成30年度80%）の前年度実績を維持・伸長する。

- イ 学校行事への満足度を高める。

※「体育祭」「文化祭」の満足度（平成30年度「92%」「93%」）の前年度実績を維持・伸長する。

(3) 生徒の対外活動の活性化と地域連携

- ア 本校総合学科の特徴である「堺学」を通じて堺市が主催する各種イベントへ積極的に参加する。

- イ 部活動や授業において、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加する。

4 開かれた学校づくりの推進と情報の発信

(1) ホームページの充実

- ア 学校の情報をタイムリーに保護者・生徒に提供するとともに、外部に対して学校教育活動の周知を図る。

※公式ブログ等の更新頻度（平成30年度60回）を前年度比10%引き上げる。

(2) 学校説明会の充実

- ア 学校説明会、オープンスクール及び、ミニ見学会等の内容を参加者のニーズに合うよう充実させ、参加者増をめざす。

※各種説明会の参加総数（平成30年度約1,300名）を2021年度は1,400名以上をめざし、内容についての肯定的評価90%以上を維持する。

(3) 緊急時の連絡手段の構築と活用

- ア 緊急時等における生徒・保護者・教職員の連絡手段を構築し、その活用を図る。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和元年11月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>※生徒11月下旬(23・29日)、教員と保護者12月中に実施。 ※ここに示す%は肯定率を表す。</p> <p>【学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒は授業について84%(1年86%、2年85%、3年80%)(昨年83%)が「難しい」と回答し昨年とほぼ横ばい、「授業の教え方を工夫している教員がいる」という評価は93%(10年87%、2年97%、3年95%)(昨年88%)で昨年を上回った。今後も授業改善への取組みを続けたい。 保護者アンケートの「子どもは授業が分かりやすく楽しいといっている」の評価は、66%(63%)で昨年とほぼ同じであった。今後も教え方の工夫と進度・内容の検討の継続が必要である。 本校のキャリアガイダンス(将来の進路や生き方について考える機会)については生徒の90%(1年91%、2年90%、3年90%)(昨年87%)、保護者の91%(昨年90%)、教員の82%(昨年88%)が適切であると評価している。総合学科として、総合的な探究の時間も活用し、生徒への働きかけを強化したい。 選択科目について、3年生徒の74%(昨年72%)、保護者の86%(昨年85%)、教員の77%(昨年82%)が「生徒の興味関心に応えている、期待通りであった」と評価している。さらに魅力ある科目となるよう工夫に努めたい。 <p>【生徒指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活に対する意識については生徒の75%(1年81%、2年67%、3年78%)(昨年72%)が「行くのが楽しい」と回答し、また保護者の83%(昨年83%)が「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」と、どちらもほぼ横ばいであった。今後、より安全で安心な学校づくりの取組みを強化していきたい。 保護者は本校の生徒指導に85%(昨年83%)が肯定的であった。生徒の「自分は生徒指導上のルールを守っている」では、93%(1年92%、2年95%、3年93%)(昨年88%)。真面目な生徒が多く、来年度も持続していきたい。また、「人権教育の機会と内容」については生徒の87%(1年85%、2年86%、3年89%)(昨年86%)、保護者の84%(昨年83%)が肯定的に捉えており昨年度とほぼ横ばい。「いじめへの対応」については、生徒の78%(1年81%、2年78%、3年75%)(昨年80%)、保護者の81%(昨年81%)が肯定的にとらえている。いじめや体罰等の人権侵害のない学校を今後もめざしていきたい。 <p>【学校運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年生は92%(昨年88%)が総合学科を選んでよかったと評価し、77%(昨年75%)が「自分で考える力・自主性を伸ばせた」、72%(昨年72%)が「コミュニケーション能力が身についた」と評価し、前者は昨年度を上回った。総合学科の特色の一部見直しを視野に入れ、今後も生徒の育成に励みたい。 文化祭や体育祭等の学校行事について保護者は86%(昨年87%)が活発であると評価し、生徒は文化祭に78%(1年78%、2年67%、3年88%)(昨年84%)、体育祭に77%(1年78%、2年66%、3年86%)(昨年81%)が肯定的に答えており、例年よりやや下降した。今後も生徒の自主性を尊重した学校行事の充実を図っていききたい。(参考)行事後すぐに実施した生徒会アンケートでは、文化祭92%(昨年92%)、体育祭91%(昨年93%)が満足と答えた。 教育相談については、生徒の「担任の先生以外に相談できる先生がいる」は46%(1年35%、2年48%、3年54%)(昨年45%)と、毎年低い数値になっている。これは主に担任が面談等を繰り返し行い、親身になって相談にのっている結果とも考えられる。相談(教育、キャリア、健康)体制について、今年度も生徒支援委員会の教員が交替で常駐したが、来室生徒数は少なかった。 教員の「PTA活動へ参加している」が57%(昨年57%)であった。次年度も校内でできるPTA活動の企画や行事の内容を検討し、教職員に啓発することによって参加率を高めたい。 教員の「仕事の引継ぎがスムーズに行われて継続性がある」については48%(昨年49%)であった。これに対しては、年度替わりの各分掌、各学年、各委員会において、次年度の課題に向けての対応の仕方や、課題解決方法などを引継ぎ、一人ひとりが組織人として情報共有、共通理解を深めていく必要がある。特に主任や長が変わる場合は必ず全てのデータ(電子・紙媒体)を引き継ぎ、円滑に運営が行われるようにすることが必要である。 教員の「職員会議等が意思疎通や意見交換の場として有効に機能している」については48%(昨年54%)であった。職員会議については、あらかじめ企画委員会で協議内容の論点を整理し、意見交換も十分に行われた後の開催となるため、そのような評価になると思われる。今年度も秋に「魅力ある授業」をテーマに研究協議形式の研修会をしたところ、活発な討議がなされた。来年度も、より活発な意見交換ができる環境づくりを行う必要があると考える。 <p>【情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校は教育情報について知らせてくれる。」については、生徒は86%(1年86%、2年84%、3年89%)(昨年84%)の肯定率である。ただし保護者は83%(昨年80%)の肯定率で、今後更なる情報提供の充実に向けて取組みが必要である。 <p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校の施設・設備に満足している」については、生徒63%(1年68%、2年58%、3年64%)(昨年55%)、保護者71%(昨年67%)、教員39%(昨年66%)であった。自由記述では、緊急連絡、科目選択などの意見が出た。 	<p>第1回(7/22)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○確かな学力の育成と授業改善について <ul style="list-style-type: none"> ■カリキュラムについて進路選択と連携できるようにしておいてほしい。 ■成績の推移を見てみると、1年後期から2年前期にかけての落ち込みが気になります。ぜひ踏ん張れるような工夫をお願いしたい思います。 ○安全で安心な学校づくりについて <ul style="list-style-type: none"> ■自立支援生の卒業生が、堺市代表などスポーツでがんばっています。また、堺市の採用枠で、障がいのある方の募集がはじまるようなので調べておいてください。 ■ユニバーサルデザインの推進ぜひ進めてください。 ■自転車の事故が増えてきているようです。必ず警察に連絡するように指導していくように。 ○夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成について <ul style="list-style-type: none"> ■部活動の指導について、生徒のためにできるだけ時間を確保したいという先生の思いと、働き方改革による閉庁日や定時退庁の設定とのバランスが課題だと思えます。 <p>第2回(12/3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○確かな学力の育成と授業改善について <ul style="list-style-type: none"> ■1年後半から2年後半までの中だるみに対する対応が必要です。学習習慣を身につけるためになにか考える手立てがあるのではないのでしょうか。 ■社会人として伸びる生徒は、授業外での活動のウエイトが大きいといわれています。宿題を少し減らしたことで授業外での活動が増えてほしいと感じます。 ■一人ひとり手帳を持っており学習時間の管理や活動実績の記録を指導したがうまく定着させてほしい。 ■私立大学が定員率の厳格化を受けて合格者を絞り込んでいます。大学によってはランクが一つ上がっている状況です。情報を集めて共有し、生徒、保護者にも安心してもらえような指導をする必要があります。 ○安全で安心な学校づくりについて <ul style="list-style-type: none"> ■以前より懸案の通学路について、マナーの指導徹底をお願いしたい。 ■自転車の音楽やスマホなどの「ながら運転」について指導をお願いしたいです。 ■生徒がインターネットを使う機会が多くなっていると思いますが、ネット依存防止やSNSの利用など指導をお願いします。 ■障がい者スポーツの取り組みについては1年だけのものだが、2年や3年も支援学校との交流会で毎年全体会には参加するのはよい。 ○夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成について <ul style="list-style-type: none"> ■2年から3年にかけて中だるみがみられますが、他校の例も参考に、うまく指導してモチベーションをあげる必要があります。 ■ダンス部や演劇部など部活動の活躍をバス停等に横断幕で掲示したことは、地域にも情報が広まっています。これからも部活動の活躍を続けてもらいたいと思います。 ○開かれた学校づくりの推進と情報の発信について <ul style="list-style-type: none"> ■保護者や生徒に向けた緊急連絡の方法を導入し、安否確認訓練も実施したのはよい。 <p>第3回(2/19)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○確かな学力の育成と授業改善について <ul style="list-style-type: none"> ■言語活動やコミュニケーション能力の向上のために、読書の習慣を身につけることや語彙の習得だけではなく、授業の中で生徒自身が自分のことをアピールする機会を増やし、考える力・伝える力を身につけることができるようにしてください。 ○安全で安心な学校づくりについて <ul style="list-style-type: none"> ■最近、「おはよう」と声をかけても黙っている生徒が増えてきているように感じます。挨拶をしっかりとできることは大切だと思います。 ■SNS関連の問題が話題になっています。学校でも企業や弁護士など外部の方の講演会を企画するなどし、生徒だけでなく、保護者も含めて使用やマナーについて考えてもらいたい。 ○夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成について <ul style="list-style-type: none"> ■進学する方法が多様化しています。センター試験をはじめ、私立大学も傾向が変化してきています。生徒が自分の夢について真剣に考え、チャレンジするサポートをしてもらいたいと思います。 ○開かれた学校づくりの推進と情報の発信について <ul style="list-style-type: none"> ■授業アンケートの結果を踏まえて、学校として対応をお願いします。特に、緊急連絡用に導入された「さくら連絡網」をうまく運用して情報は発信してください。 ■2回の学校説明会だけでなく、参加できない中学生や保護者の方にもミニ見学会などで対応することは必要だと思えます。

3 本年度の取組内容及び自己評価

	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成と授業改善	(1) 新たな学習指導要領導入に向けての取り組み	(1) ・ 各組織、教科等において「育む生徒像」及び育むべき学力の共通認識を図り、教育課程編成に着手する。 ・ 「道徳教育推進教師」を中心に全体計画の作成に取り組む。		(1) ・ 「育む生徒像」の共通理解を図りながら、教育課程委員会を毎月開催し編成に着手した。(○) ・ 「道徳教育推進教師」を中心に道徳教育の全体計画の作成のためにに向けて研究を進めている。(○)
	(2) 授業の充実と授業改善 ア 授業公開と授業アンケート等の活用	(2) ア・教員相互の授業公開、管理職の授業観察、研究協議等を通じて授業力を向上させる。 ・ 授業公開時間を設け教員相互が授業見学を行う。 ・ 管理職が授業改善に係る指導助言を行う。 ・ 教員自ら授業アンケート結果を検証し、「主体的・対話的で深い学び」の在り方を踏まえた授業改善に取り組む。	(2) ア・教員の授業見学や研究協議への参加率90% <H30-82%> ・ 「授業アンケート」の「授業に対する生徒の評価」の5項目における肯定的評価80% <H30-77%~86%>	(2) ア・11/8に校内公開研究授業を行い、その後活発な研究協議会を実施した。教員参加率は(36名/54名で)67%であった。今年度は「日々の授業づくり、アクティブラーニング、ICT活用の有効性」などについて活発な意見が出た。次年度も研修を通して授業内容や授業方法の研究や改善に組みたい。(△) ・ 授業アンケートでは「興味・関心を持った」82%、「知識技能が身に付いた」82%の満足度でほぼ横ばいとなった。次年度も引き続き、授業改善に組み満足度アップをめざす。(○)
	イ ICT 機器等を活用した工夫ある授業の創出	イ・ICT機器等も活用した授業の工夫を努める。 ・ ICT 機器が利用できる環境整備を図る。 ・ ICT 機器を活用すると同時教材の共有化を図り、授業準備等に係る業務の軽減にも努める。	イ・ICT活用した授業を実施するための必要機器購入 ・ 周年事業等の機会を捉え、整備計画に着手 ウ・医療系大学高大連携講座参加者15名 <H30-10名>	イ・ICT機器として単焦点プロジェクター1台、書画カメラを購入(○) ・ ICT利用可能教室の増室については、周年事業として実現をめざす。(△) ウ・医療系大学の高大連携講座に5名が参加した。今後も連携を続けていきたい。(関西医療大学、畿央大学)(△)
	ウ 高大連携・インターンシップへの取り組み	ウ・高大連携やインターンシップを充実させる。		ウ・医療系大学の高大連携講座に5名が参加した。今後も連携を続けていきたい。(関西医療大学、畿央大学)(△)
	(3) 自分の意見をまとめ、発表して、相手に自分の考えを伝える力の向上	(3) ・ 授業や集会において、自分の考えを発表したり他者の意見を聞いたりする機会を増やす。 ・ 授業の中でプレゼンテーションの機会を増やす。 ・ 校外の研究発表等に積極的に参加する。	(3) ・ 総合学科アンケートの『コミュニケーション能力が身についた』75%<H30-72%> ・ プレゼンを取り入れた授業を全ての教科で行う。 ・ 総合学科アンケートの『自主性を伸ばせた』80% <H30-75%>	(3) ・ 「探求講座」「保健」「社会と情報」「堺のまちづくり」等でプレゼンを実施。今後も多くの教科において自分の考えを伝える授業を増やしたい。(○) ・ 「看護基礎」を受講する生徒が近畿総合学科高等学校研究発表会で看護実習についての展示発表を行った。また、地学部生徒が地学部研究発表会で今年度も「酸性雨」について研究発表した。「堺のまちづくり」の授業では堺市職員・地域自治会役員等にも講演や助言をいただくとともに授業作品を発表した。(◎) ・ 「コミュニケーション能力が身についた」72%、「自主性を伸ばせた」87%>(◎)
	(4) 基礎学力の定着と自ら学ぶ意欲・姿勢の涵養 ア 基礎学力定着	(4) ア・講習等で「学力生活実態調査」のやり直し(リトライ)を徹底し、国・数・英の基礎学力を定着させる。 ・ 英語については4技能を伸ばさせる取り組みを進める。	(4) ア・1年2年共に第2回「学力生活実態調査」の3教科全てGTZ「B2」 <H30-1年B2, 2年B3> ・ 民間英語資格検定試験に取り組む。	(4) ア・「学力生活実態調査」については、教員による再指導(リトライ)を行なっている。平均GTZは、1年生はB2を堅持したが、2年生はB3の結果となった。次年度以降も指導を継続したい。(△) ・ 1,2年で1月に4技能を含むGTECを実施した。(○)
	イ 講習等の充実	イ・学年や教科が中心となり、補習・講習を充実させ、学習意欲を喚起する。	イ・学校教育自己診断の『学習にがんばってきた』1,2年10%アップ、3年維持 <H30-1年51%, 2年68%, 3年80%>	イ・3年次について、前期6講座、夏休み18講座、後期5講座を開講し、内容充実に努めた。「学習にがんばってきた」(1年56%、2年76%、3年82%)(○)
	ウ 学習関連行事への積極参加	ウ・校外でのセミナーや模擬試験など、様々な学習行事に自ら参加する姿勢を育てる。 ・ 「進学合宿」「勉強合宿」を充実させる。	ウ・「進学合宿(3年)」「勉強合宿(1,2年)」への参加者が共に30名 <H30-「進学」0名「勉強」13名>	ウ・昨年度3/22より1泊2日で1,2年生の「勉強合宿」を実施し19名が参加した。3年生の「進学合宿」は7月下旬に1泊2日で企画したが参加者が集まらず中止となった。日程、内容について中止も含めて再検討する必要がある。(△)
	エ 自主学習習慣の確立	エ・自習室や進路指導室の活用及び、家庭学習を促す。	エ・学校教育自己診断の『家での学習時間がない』0% <H30-1年24%, 2年28%>	エ・自習室、進路指導自習コーナー、看護系自習コーナーは、ほぼ毎日多数の生徒の利用があり、進路指導部・3学年年団を中心に付き添った。今後も継続的に活用度を高めたい。(○) ・ 「家庭学習0」(1年26%、2年20%)塾や予備校で学習する生徒の増加もある。学校以外での自主学習を確立するよう引き続き指導していく。(△)

府立堺東高等学校

	(5) 政治的教養をはぐくむ	(5) ・各学年共に「HR」「授業」「産業社会と人間」等の時間において、外部機関と連携して充実した政治的教養をはぐくむ取組みを行うとともに、消費者教育についての内容を盛り込む。	(5) ・各学年共に「指導計画」書に定められた指導を完了する (1・2年5単位時間、3年3単位時間)	(5) ・堺市南区の選挙管理委員会を講師に向かえ、選挙についての講演を実施した。また、1年の「現代社会」の政治分野において学習した。生徒会選挙についても学習の場と位置づけて実施した。(○)
2 安全で安心な学校づくり	(1) 人権教育の推進 ア 自立支援コース生徒と一般生徒との交流 イ 合理的配慮への取組み ウ 支援学校との交流活動	(1) ア・「自立支援コース」生徒と一般生徒の授業交流の機会を保障する。 イ・生徒・保護者から配慮を求める意思表示があった場合は「合理的配慮」を行う。 ウ・支援学校との交流会を一層充実させる。	(1) ア・「自立支援コース」生徒と一般生徒の交流授業の科目数を維持する。<H30-6 教科> イ・不当な差別的取り扱いを生起させない。 ・支援を必要とする生徒への取組みを継続する。 ウ・夏の支援学校との交流会への参加者50名 <H30-47名>	(1) ア・芸術、社会、理科、福祉、保健、HRの授業で交流を行った。情報の授業でインタビュー記事や情報モラルについてのプレゼン作品を仕上げた(○)。 イ・配慮を要する生徒の学習を保障するため、組織的に対応した。(◎) ウ・夏の堺支援学校訪問交流に生徒40名が参加した。今後も生徒会と連携して障がい理解を推進したい。(◎) ・冬の堺支援学校招待交流では、40名を招いて生徒会主体の全校歓迎会を実施し、その後、1年生が全クラスでのHR交流を行い、レクリエーション等で親睦を深めた。(○)
	(2) 教員の人権意識の高揚 ア 人権研修の充実 イ サポート校としての実践推進 ウ 教育相談体制の充実	(2) ア・教職員の人権研修を充実させる。 イ・支援教育サポート校として他校を支援する。 ウ・教育相談体制を充実させる。また、そのことを通じて、全体で教育相談に当たる意識を醸成し、一部の教職員にのみ掛かる負担を緩和する。	(2) ア・教員の「学校教育自己診断」における人権教育関連項目の肯定率80% <H30-77%> イ・他校への支援件数を前年度並みに維持。 <H30-17校44件> ウ・学校教育自己診断の『担任以外で相談できる先生がいる』の肯定率50% <H30-1年40%, 2年37%, 3年59%> ・教員の学校教育自己診断の教育相談体制の肯定率を維持。 <H30-92%>	(2) ア・公開人権研修を2回実施した。7/24の「配慮を要する生徒の評価」校内参加率83% (50名/60名)、12/24の「子どもに寄り添う指導」校内参加率79% (41名/52名)。両研修ともに講演後に活発な研究協議が行われた。(○) 教員向校内研修の肯定率74% (△) イ・支援教育サポート校として他校からの相談件数が14校59件 (昨年17校44件)。その他高校だけでなく小中学校や市町村への研修講師依頼が7件 (昨年5件)、関係会議への参加が30回 (昨年21回) あり、積極的に他校支援を行うことができた。(○) ウ・月に平均1回来校するスクールカウンセラーによる相談が34件 (昨年32件)、サポート室の教諭による相談もあり、教育相談体制は充実している。なお、教育相談委員による交替制で、教育相談室を授業時間中は開室している。(◎) ・『担任以外で相談できる先生がいる』の肯定率46% (1年35% 2年48% 3年54%) ・教育相談体制肯定率83% (△)
	(3) 生徒の規範意識の醸成	(3) ・安全で安心な学習環境をつくる。 ・いじめ等の問題事象については、「いじめ防止基本方針」に則り、組織的に対応する。 ・ネット上のいじめ等が発生しないように情報モラルを育成する。 ・外部講師による講演なども実施し、交通ルール遵守の姿勢を育て、また薬物乱用防止教育に取り組む。	(3) ・学校教育自己診断の『生活指導上のルールを守っている』95% <H30-91%> ・学校のいじめ対応についての肯定的評価 <H30-1年81%, 2年86%, 3年74%> ・携帯電話やネット上のトラブルを生起させない。	(3) ・年間3回全教員で、また毎日教員4名当番制で通学マナー、服装、頭髪の登下校指導を実施した。授業時間内は当番制で校内巡回も実施した。(○) 「生活指導上のルールを守っている」93% ・学校のいじめ対応についての肯定的評価 1年81%, 2年78%, 3年75% ・集会、探求、HRや情報の授業で実施している「情報モラル」に関する指導により、携帯電話やネット上の大きなトラブルは、発生していない。(○) ・全校集会や学年集会など機会あるごとに生徒指導部より交通ルールの指導を行った。(○) ・7月に学校薬剤師を講師に薬物乱用防止教室を実施した(○)。
	(4) 通学路の安全確保	(4) ・堺市建設局と協議し、地域の自治連合会の理解・協力を得ながら学校敷地周辺の歩道整備を進める。	(4) ・歩道整備計画推進に係る要望書を再度提出する。	(4) ・地域の自治連合会とも連携を図り、堺市との協議を継続し、必要性について理解いただき前進。(◎)

府立堺東高等学校

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成</p>	<p>(1) キャリア教育の充実 ア 教科・科目の連携</p> <p>イ インターンシップの充実</p> <p>(2) 部活動の充実と学校行事への積極的な参加 ア 「部活動に係る基本方針」の順守と体罰のない充実した部活動指導</p> <p>イ 学校行事の活性化</p> <p>(3) 生徒の対外活動の活性化と地域連携</p>	<p>(1) ア・生徒の進路実現に向けて「産社」「志学」「HR」「総合」の有機的な連携を図る。 ・「志学」において大学や専門学校への説明会等への積極的な参加を図る。</p> <p>イ・保育所、病院、老人介護施設等へのインターンシップの充実を図る。</p> <p>(2) ア・「部活動に係る基本方針」に則り、生徒・教職員両者にとって適切な部活動を進める。 ・体罰のない部活動指導を行い、充実した部活動運営を行う。 ・部活動の入部率を上げる。 ・地域の中学校との部活動交流を積極的に行う。</p> <p>イ・「体育祭」「文化祭」「クラスマッチ」等、生徒が自主運営する学校行事を活性化させる。 ・生徒会活動や各種学級委員会活動を充実させる。 ・修学旅行の継続的实施に向けて取り組みを進める。</p> <p>(3) ・地元の小学校との交流を充実させる。 ・堺市の観光協会や博物館が主催する行事への参加を促す。 ・地域のイベントへの参加や、ボランティア活動への参加を促す。</p>	<p>(1) ア・学校教育自己診断における「キャリア教育」に係る満足度 90% <H30-1年 88%, 2年 85%, 3年 88%> ・「大学訪問レポート」提出率 100%を維持 <H30-100%></p> <p>イ・保育所、病院、老人ホームへのインターンシップ参加者延べ数 30名 <H30-24名></p> <p>(2) ア・体罰ゼロの継続 ・「近畿大会」以上へ出場するクラブを増やす。 <H30-3クラブ> ・部活動入部率 80%以上維持 <H30-80%> ・中学校との部活交流を行う部活動を増やす。(3クラブ以上) <H30-2クラブ></p> <p>イ・「体育祭」「文化祭」に係るアンケートの満足度 95% <H30-「体育祭」92%、「文化祭」93%> ・生徒の各種委員会を毎月1回以上行い、活動内容をHP等に掲載する。</p> <p>(3) ・地域の小学生との授業交流を続ける。 ・「堺学」の授業発表や堺市が主催する各種イベントへの参加を年間3回以上行い「学びの質」を高める。 <H30-4回> ・地域のボランティア活動への参加者数 10%引き上げる。 <H30-121名></p>	<p>(1) ア・「キャリア教育」に係る満足度 90% (1年 91%、2年 90%、3年 90%) (○) ・生徒の進路実現に向けて、3年前期には企業について学ぶ「就職と人権」、1・2年では学問の系統や上級学校について学ぶ「模擬授業」「学部学科別がイブンス」「大学等見学」など、各学年において「産社」「志学」「HR」を活用して「キャリア教育」に取り組んだ。(○) ・2年生と1年生の希望者が大学や看護専門学校への見学会を実施し、レポート提出を課した1年生の提出率は100%であった。(○) また1年生が「探求入門」として、大学のオープンキャンパス等に参加するという夏休みの「探求課題」のレポートを全員が発表した。(○)</p> <p>イ・6月の病院見学会に8名の生徒が参加し、8月に保育所4名、病院2名・老人ホーム2名の生徒がインターンシップに参加し、合わせて16名が職業理解を深めた。今後もインターンシップを継続しキャリア教育を推進する。(△)</p> <p>(2) ア・「安全で安心な学校生活アンケート」を7月と11月に実施し、今年度も「体罰」が無いことを確認をした。(◎) ・ダンス部が夏・冬全国大会に出場し3位の成績を収め、演劇部は近畿大会出場を果たした。また、女子ハンドボール部は春季大会で府ベスト8の実績を上げた。(◎) ・部活動の加入率は76.7%で前年度より3%ダウンした。(△) クラブ紹介等で入部率向上をめざす。 ・地域の中学校との交流として女子バスケットボール部が7月は12校、12月にも12校を招いて本校主催の「ドルフィンカップ」を開催、男子バレー部も昨年に引き続き中学校を招いて積極的に交流を行った。今後も継続したい。(△)</p> <p>イ・「体育祭」92(91.7) %、「文化祭」91(91.4) %の満足度で、昨年と同様の水準を維持した。(△) 行事における携帯使用のルール確立が定着するなど、生徒の自主性を伸長することにつながった。(○) 今後も生徒の積極参加を促し、自主性を尊重した行事の充実を図っていく。 ・月1回程度、図書委員会、保健委員会を行い、「図書新聞『パピルス』」、「保健だより」を発行した。他の学級代表・風紀・庶務会計・文化・体育等の各委員は、オープンスクール運営・文化祭・体育祭運営に協力した。(○)</p> <p>(3) ・「福祉基礎」「介護基礎」選択生徒が地域の小学校を招いて車いす体験、視覚障がい者体験を指導し、交流した。(○) ・「堺学フィールドワーク」に参加し、地域との活発な交流・活動を行った。今後も「堺学」に関する学びを深める行事への参加を推進した。(○) ・ボランティアでは、5月「緑のつどい」18名、7月「堺大魚夜市」0名、8月「地域夏祭」13名、9月「地域敬老会」0名、「堺観光ガイドボランティア」8名、「FPO障がい者スポーツ大会」13名、10月「高倉台ハロウィン」6名、「堺支援学校秋祭」7名、11月「南区クリーンキャンペーン」1名、「保育園秋祭」6名、「府民レクフェスTBG大会」12名、「原山台子ども食堂」38名など合計122名が参加した。また部活動においても、吹奏楽部、合唱部が特別養護老人ホームで演奏会を開催した。いずれも毎年継続した活動として定着しており、地域からも感謝されている。来年度も積極的に参加を推進したい。(○)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">4 開かれた学校づくりの推進と情報の発信</p>	<p>(1) ホームページの充実</p>	<p>(1) ・ホームページを頻繁に更新し、学校情報を積極的に発信して在校生やその保護者、中学生やその保護者に必要な情報を提供する。 ・緊急時の情報提供にホームページを活用する。</p>	<p>(1) ・ホームページへの年間アクセス数 10万件以上 <H30-97,000件> ・更新回数 10%アップ <H30-60回> ・公式ブログ数 10%アップ <H30-58本> ・校長ブログ数 10%アップ <H30-64本> ・各クラブページの更新年1回以上</p>	<p>(1) ・スマートフォン対応に改修したホームページには年間72136件のアクセスがあった。在校生や保護者による行事日程等の確認をはじめ、中学生とその保護者によるオープンスクールのネット申込みまで活用度が高い。また、昨年に引き続き「校長ブログ」で日々の学校の様子を紹介している。次年度も、より充実したホームページ作りに努める。 ・「臨時休校の連絡ブログ」運用を継続し、各更新回数は、HP更新回数 65回、公式ブログ数 50本、クラブ更新 12、校長ブログ数 125本 (○)</p>

府立堺東高等学校

	<p>(2) 学校説明会の充実</p> <p>(3) 緊急時の連絡手段の構築</p>	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会の内容を見直し、ミニ見学会等も合わせて参加者のニーズに合うよう充実を図る。 ・中学校や教育産業からの要請による「学校説明会」等に積極的に参加する。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安否確認等に活用できる緊急時の連絡網を構築し、運用を図る。 ・双方向性を生かし、遅刻連絡等にも活用する。 	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で実施する各種説明会の参加延べ数 10%アップ 〈H30—約 1,300 名〉 ・中学校等へ出張「学校説明会」15 件 〈H30—13 件〉 	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒による学校生活の紹介など、オープンスクールを2回実施し、中学生 424 名、保護者等 166 名、計 590 名が参加した。別途 4 月から休日に中学生ミニ見学会を9回実施し、590 名（昨年 437 名）の参加申し込みがあった。 (△) 参加した中学生の感想として、「分かりやすかった」「大体分かった」が 96.3%、「進路決定の参考になった」が 96.2%という回答を得た。(○) ・学校説明会の依頼は中学 4 校、市町等から 4 件、塾等から 5 件あり、合計 13 件全て参加した。(○) <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時等における生徒・教職員の安否確認や、臨時休校等の緊急連絡のため、生徒・保護者・教職員対象のメール連絡網を構築した。運用は 4 月開始した。(◎) ・メール連絡網で、避難訓練当日に安否確認のテストを実施や、一部遅刻連絡に活用するなどできた。(◎)
--	--	---	---	---